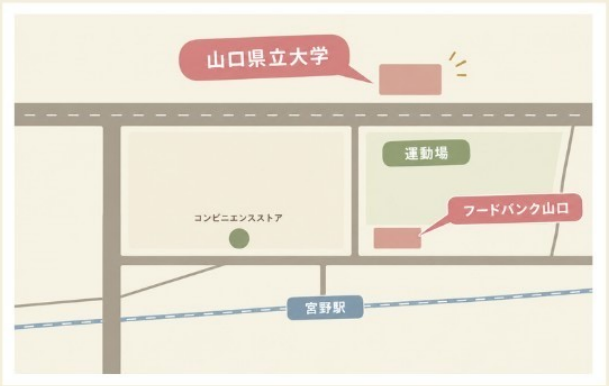


もったいないを
ありがとうに。



Access



特定非営利活動法人フードバンク山口
〒753-0021　山口市桜畠3-2-1 山口県宮野庁舎1階
080-3565-9640（事務局）
FAX：083-963-4157

フードバンク山口@県民活動団体
プロジェクトチーム
（山口県立大学国際文化学部情報社会学科 環境情報科学研究室（今村主税））
〒753-8502 山口県山口市桜畠6-2-1
083-929-6249

SNS

フードバンク山口

やまぐち県民活動ユース

HP:httpd://www.fbyamaguchi.or.jp

フードバンク山口

×

公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

つながることで
より良い未来を

FOOD BANK YAMAGUCHI
×
YPU

フードバンクとは

まだ食べられるのに
廃棄されてしまう食品を、
必要としている人や地域の施設へ
届ける活動です。

食品ロスを減らす

まだ食べられる食品を活かすことで
食べ物のムダを減らし、
環境を守ります。

生活に困っている方を支える

食料の支援を通じて、経済的に
困っている方や子どもたちの
安心した暮らしを支えます。

地域で食品を循環させる

地域の企業や団体、住民がつながり、
支え合うことで、
やさしい地域づくりを進めます。

しかし、支援の手はまだまだ
足りていないのが現状です。

そこで
山口県立大学生による
フードバンク山口@県民活動団体
プロジェクトチーム
が始動しました！

私たちは、**山口県立大学の学生で構成されたチーム**で、
フードバンクの活動を広めるために活動しています。
大学内に食品を寄付できるポストを設置し、フードバンクの活動をより多くの人に知ってもらうことを目指しています。
学生や教職員の皆さんはもちろん、**地域の方々も**気軽に食品を寄付できる環境づくりに取り組んでいます。

倉庫での様子

フードバンクの倉庫を見学し、
寄付された食品を必要な人や団体に届ける仕組みを学びました。
食品ロスの削減と生活に困っている人への支援につながること、
実現には多くの人の協力が必要であることが分かりました。



普段の話し合いの様子



週に1度メンバーで集まり、
大学内に食品を寄付できるフードポストを設置するための話し合いを行っています。
食品ロスの削減や、支援を必要とする人に食品を届ける方法について考え、ポストの設置場所や利用方法など、実現に向けて具体的な意見を出し合いました。

今後の取り組み

step 1

大学祭で来場者にフードポストを飾り付けてもらい、
世界に一つだけのオリジナル
フードポストを作ります。
また、実際に余っている食品を
もってきていただき、
フードポストに入れてもらう
体験を提供します。



step 2

大学祭で作成したフードポストを大学内に設置し、
学生や大学職員、地域の方が自由に食品を
入れられるようにします。学生の目につく場所に
設置することで若い世代にフードバンクを
認知してもらうことにつながります。

step 3

集めた食品を地域の必要としている人に届け、支えあいの輪を広げていきます。

できることから始めよう

食品を寄付する
活動を知る
地域の取り組みに参加する